

## その他

市の考え方の後ろの( )書きは、回答した担当部を記しています。

No	意見の内容	市の考え方
<b>計画策定にあたっての市民意見の反映について</b>		
1	第7次総合計画策定時と比べて、市民意見の収集が減っているのではないかと。	総合計画の策定にあたっては、多くの市民の皆様の声に計画に反映していきたいと考え、平成20年5月から12月まで、意見交換会やアンケート調査、パブリックコメントなど様々な形でご意見をいただいております。今後は、これらの意見を出来る限り反映させ、最終案を策定していきたいと考えております。(企画部)
2	市民意見の聴取が遅すぎる。これからは、是非、市民の声を取り入れて欲しい。	
3	もっと、市民の声を取り入れて欲しい。	
4	ポスターセッションの方式は、内容が良く伝わってきて非常に良かった。	市民意見交換会では、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後も、市民の皆様にとって理解しやすい方法、分かりやすい説明に努めてまいります。(企画部)
5	説明が十分で、分かりやすかった。	
6	ポスターセッション形式は非常に良かった。	
7	ポスターセッション形式は非常に良かった。	今回の意見交換会の開催にあたりましては、広報やまをはじめ、市のホームページ、また団体等へのお知らせなど、市民の皆様へのPRを努めましたが、十分に情報をお届けできなかったのではないかと感じております。今後、このような機会を設けた場合には、皆様のもとに十分情報が伝わるような方法を考えていきたいと思っております。(企画部)
8	意見交換会、PRが足りない。	
9	努力に対する来客が少なすぎる。もう少し人が集まるように努力して欲しい。	
<b>その他</b>		
10	大和市の人間のマナーの育成	市民のマナーの育成については、総合計画では直接的な記述はありませんが、ごみの分別や自転車の利用など、様々な機会を捉えて、マナー向上の取り組みを進めてまいります。(企画部)
11	上層部の変更によって、計画が中止されることは残念である。	今回の総合計画は、高齢者の急激な人口増加、公共を支える国の制度や仕組みの疲弊、先行き不透明な経済情勢など激しく変動する社会情勢の中で、市民が抱えている様々な不安に対処するために、策定に至ったものです。(企画部)
12	総合計画の改定にも費用がかかっているはずである。またすぐに計画を作り直すことのないようにして欲しい。	
13	市役所の庁舎が外からわかりにくい(特に鶴間駅から徒歩で入る方向)。大和市の目玉なのだからわかるようにした方がよい。	現在ある、案内看板をわかりやすく改修し、対応していきます。(総務部)
14	施策の所管がわかるよう、表現方法を工夫してほしい。	目標達成に向けて活動する所管課については、実施計画のレベルで出来る限り分かりやすく記載してまいります。(企画部)
15	計画の内容が市民全体に認識されていない部分が多いと思う。	総合計画の内容については、市のホームページ、意見交換会などでPRに努めてまいりましたが、十分に情報をお届けできなかったのではないかと感じております。今後は、健康創造都市づくり推進のための具体的な取り組みを展開し、市民の皆様幅広くその内容が行き渡るよう、努めていきたいと考えています。(企画部)
16	あまり過大なビジョンを市民に説明するのではなく、具体的な事例やキャッチフレーズなど身近なことから興味を注ぐようにされたら広く計画が行き渡ると思う。	

No	意見の内容	市の考え方
17	議員の数を減らしても良いのではないか。	議員定数については、市の財政状況、人口動向、社会情勢などを踏まえ、また円滑な議会運営も考慮に入れながら、議会において議論されるものであるため、議員数削減についてのご意見があったことを議会事務局にお伝えいたします。(企画部)
18	第7次の評価結果を表示する必要がある。	第8次総合計画の策定にあたっては、前計画で示された指標の進捗状況も確認しながら、作業を進めてまいりました。その評価結果を新たな計画に表示する予定はありませんが、第8次総合計画の序論の中にある「大和市が抱えるまちづくりの課題」で、本市を取り巻く社会経済状況や前計画の評価結果などを踏まえ、整理しております。(企画部)
19	自治基本条例と市民活動推進条例を大きな軸として論法を組み立てるべき。	自治基本条例は、市民、議会、行政の三者の間で共有すべき考え方や仕組みを定めたものであり、これらは今後も重要な約束事として引き継がれていくものです。従って市の最上位の計画である総合計画は自治の基本理念にのっとり、三者が共有できる分かりやすい将来都市像を設定することが最も重要であると考え、第8次総合計画の策定作業を進めてまいりました。また、市民活動推進条例に基づく取り組みについては、将来都市像を実現するための非常に重要な手段であると考えます。(企画部)